

2017Japan National Team Report ”選手”



報告者	クラブ B&G 福岡ジュニアヨット海洋クラブ 学年 中2 氏名 下石 雅楽		
大会名	2019 OPTIMIST ASIAN & OCEANIAN CHAMPIONSHIP		
開催地	OMAN MUSSANAH		
大会期間	30 Sep-07 Oct 2019		
セールNo	JPN 3243	最終順位	87/148

- 帰国後1ヶ月以内に、チームでまとめた上、海外派遣担当までメールにて送付して下さい
- JODA理事会にて確認の後に、ホームページに公開します
- 記入時の注意点
 1. このレポートは今後海外派遣レースに参加する選手、役員また日本のジュニアのための資料です
 2. なるべく詳細に記入して下さい
 3. 大会本部や運営、他国や他国選手また特定の個人を批判するような記述はしないで下さい
- 写真資料について
 1. このレポートを補足する資料として必要な場合は、文中に貼り付けて下さい
 2. 他国のOP艇を接近して撮影することを禁止します

気温、水温、ウエアについて	気温はいつも30度超えて、水温も日本と比べてとても温かった。
海面(湖面)の特徴や風の傾向	波が1m以上あり、一定のリズムで滑らかな感じ。 風は朝から夕方にかけて、シーブリーズで上がっていき、右に回っていく。
セッティングで注意したこと	海面での風の変化がとても大きいので、朝のまま深いままにならないように、レース毎にセールの深さを風に合わせて変えた。
セーリングで注意したこと	風も強く、波も高く、コースも長かったので、自分の体力を調整した。
海上で練習したこと	・マレーシアの選手とスピード練習 ・右と左のエンドでタックし、有利エンドの確認。
実際のスベリはどうか？	風のわりに波がとてつもなく高く、走りにくい感じがした。 風の向きと波の向きが違い、ランニングが走りにくかった。

スタートは、どうでしたか？	有利エンドはスタートできなかった。でもラインが長く、不利エンドからだトップスピードでスタートできた。
コース戦略はどうでしたか？	ブローを見てコースを立てても消えてしまうし、あまり大きくふれないため難しかった。
自分より上位の選手との違いは？	1つ1つのタックや、タックのタイミングの数秒のズレの積み重なり。
国内の練習で役立ったこと	波が高かったため、ランニングの、主にパンピング。
国内の練習で足りなかったこと	なぜ、～な海面では走るのかを考えて乗ること。
印象に残った外国選手は？	マレーシアの11番。
行く前と、行ってからで違ったことはありましたか。	フネのバランスをいつもよりめちゃくちゃ意識した。
今後の課題と目標は？	今回、上のレグは全くコースがあてにならなかったなので、スピードやタックなど小さなことで少しずつ前に出ていけるようになること。
JODAへの要望	
その他	

ご協力ありがとうございました
JODA海外派遣委員会